

鉄道コンテナ輸送 総合ガイドブック



明日のグリーン社会を実現する

レールがつなぐ地球の未来、やさしく便利な鉄道コンテナ輸送



公益社団法人 全国通運連盟

鉄道

Railroad

+

トラック

Truck

の

“いいとこどり”で持続可能な グリーン物流を支え続けます。

地球環境にやさしい大量輸送機関である鉄道。

小回りのきいた機動力でドア・ツー・ドアの物流を支えるトラック輸送。

「鉄道コンテナ輸送」は、その両方の長所を組み合わせた輸送サービスです。

まさに、“いいとこどり”。

環境優位性と利便性の高さから、エッセンシャルな物流の持続可能性に
貢献していきます。

SDGs 達成に向けたモーダルシフトを実現する

世界では今、SDGs 達成とより良い世界の構築に向け、
企業が長期的視点に立った枠組みを策定し、積極的にサ
ステナビリティを推進することが期待されています。
環境に配慮した鉄道コンテナ輸送は、SDGs 達成に貢献
する物流手段として注目が集まっています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

1

環境性

CO₂ 排出量は
トラックの1/10

あらゆる輸送機関の中でもっとも環境にやさしい
鉄道輸送。カーボンニュートラルの実現に欠かす
ことができない輸送手段です。

P.5

2

経済性

大量・長距離輸送で
大きなコストメリット

一度に大量の貨物が運べる鉄道コンテナ輸送。
特に長距離輸送ではコストメリットが発揮され、
物流コストの削減に貢献することができます。

P.7

6

安全性

システムが支える
安全かつ効率的な輸送体制

J R 貨物の様々なシステムが、安全で安定的な
鉄道コンテナ輸送サービスを実現しています。

P.19

5

確実性

渋滞のない
ダイヤによる定時運行

レール輸送に道路のような渋滞はありません。
綿密なダイヤグラムによる定時運行が確立されて
います。

P.17

4

多様性

ニーズに応じた
様々な「運び方」を実現

鉄道コンテナ輸送は、パレット輸送をはじめ様々
な形状の貨物にも対応できます。また、国内輸送
にとどまらず、国際物流でも活躍しています。

P.11

3

生産性

労働力不足時代に
最適な輸送手段

深刻化するトラックドライバー不足。列車1本で大
型トラック65台分の貨物を運べる鉄道コンテナ輸
送は、労働力不足時代にふさわしい輸送手段です。

P.9

鉄道コンテナ輸 送が選ばれる
6つの理由

地球温暖化の防止だけでなく、幅広い輸送ニーズに応
える鉄道コンテナ輸送。スピーディーでシームレスな
輸送体制を実現し、物流の未来を切り拓きます。



環境性

「グリーン社会に不可欠なモーダルシフト」



鉄道のCO₂排出量は営業用トラックの約1/10

あらゆる輸送機関の中で、もっとも環境特性に優れている鉄道輸送。我が国が目指す「カーボンニュートラル」の実現にとって、モーダルシフトの推進が大きな役割を担っています。

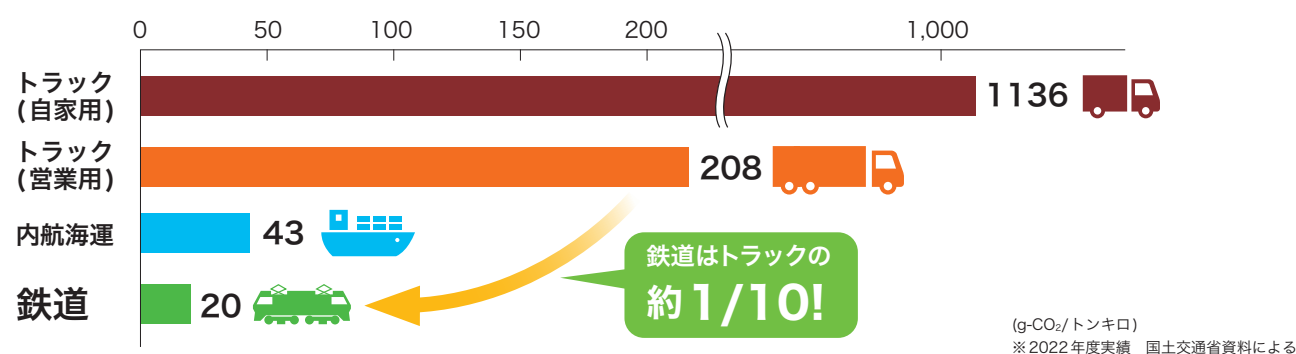
■モーダルシフトでカーボンニュートラルの実現を

経済や暮らしに欠かすことができないライフラインである「物流」。その物流の輸送手段を、トラック輸送から環境に対する負荷の小さい鉄道や海運に転換することを「モーダルシフト」といいます。特に、鉄道は営業用トラックに比べ約10分の1のCO₂しか排出しないため、地球温暖化防止という大きな課題を実現するためには、欠かすことができない取り組みのひとつとなっています。また、鉄道のエネルギー消費量はトラックの約8分の1であり、モーダルシフトを拡大していくことは、

石油をはじめとする化石燃料の使用量を抑制することにも貢献します。

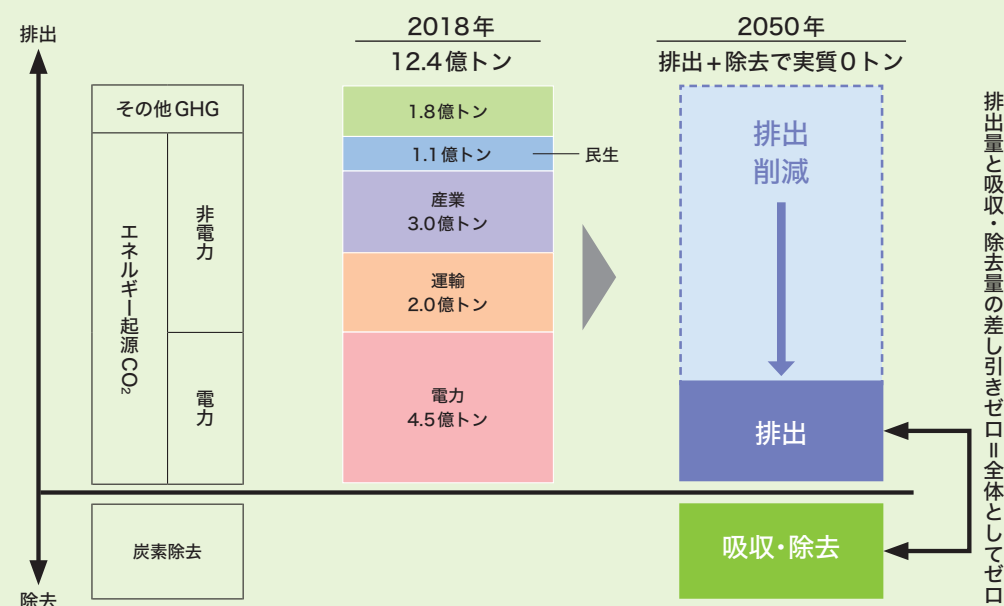
日本政府は2020年秋に、2050年時点でのCO₂排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言しました。今後、あらゆる分野でその実現に向けた取り組みが加速していくことになりますが、物流分野では、鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの拡大が大きなカギを握っているといえます。

■輸送機関別 CO₂ 排出原単位 1 トンの貨物を 1km 運ぶのに排出する CO₂ の比較



カーボンニュートラルって何？

カーボンニュートラルとは、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることで、脱炭素社会を実現することです。産業活動や生活の中で排出される温室効果ガスを削減する取り組みを進めることに加え、削減できない分については、例えば植林などによってCO₂の吸収量を増やし、排出量から吸収量・除去量を差し引いた合計をゼロの状態にすることを意味しています。政府は2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラルを実現することを宣言しています。



グリーン物流パートナーシップ会議

国土交通省と経済産業省が主導して、物流分野におけるCO₂排出量削減に取り組む企業を支援するために発足しました。グリーン物流を推進する企業の表彰などの活動を継続的にを行っています。

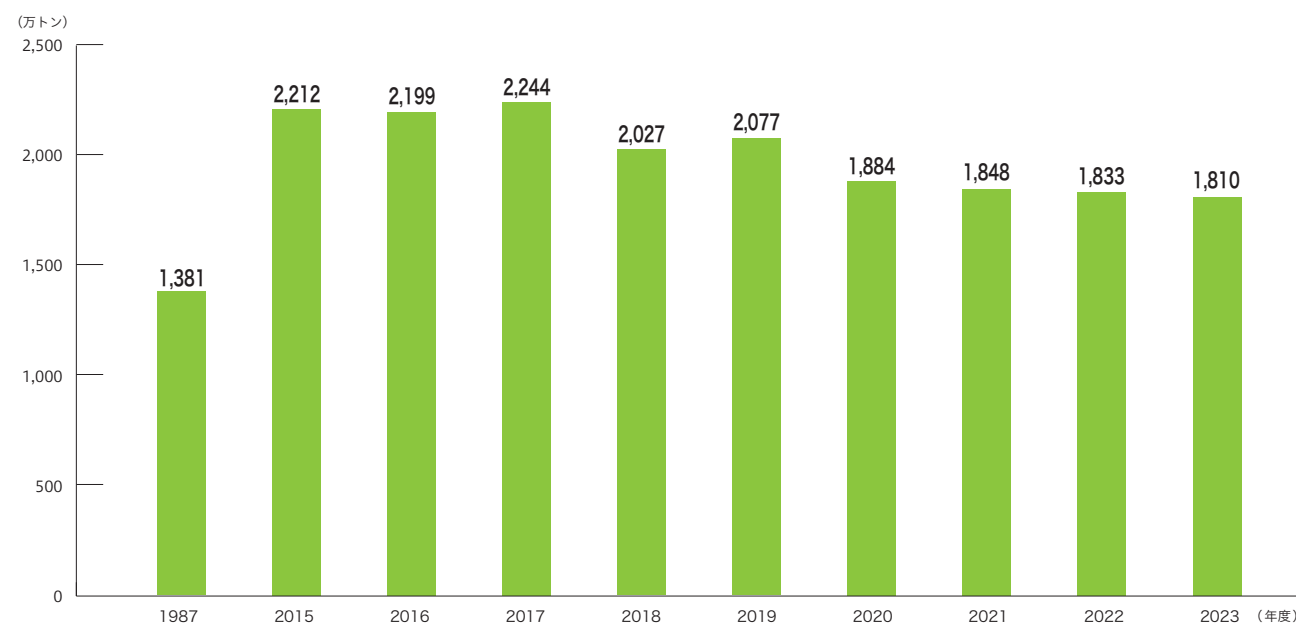
<https://www.greenpartnership.jp/>

地球環境にやさしい企業を示す エコレールマーク

エコレールマークは地球環境に優しい鉄道貨物輸送を積極的に利用している商品や企業がかかるマークです。商品やカタログ等に表示されることにより、一般消費者が商品を購入する際、環境に優しい鉄道貨物輸送を利用していることを認識できます。



■日本における鉄道コンテナ輸送量の推移 ※出典 JR 貨物





経済性 〔大量・長距離輸送で大きなコストメリット〕

サプライチェーン最適化と、コストダウンを同時に推進

鉄道コンテナ輸送の最大の特長である「大量輸送・長距離輸送」を活かせば、地球環境負荷の低減だけでなく、物流コストの削減も実現できます。

■ スケールメリットをコストメリットに

鉄道コンテナ輸送の最大の特長のひとつは、一度に大量の貨物を輸送できる「大量輸送性」です。トラック輸送の場合、1台のトラックで輸送できる貨物量は最大でも10トン程度ですが、貨物列車の場合は1本で最大650トン、大型トラックに換算すると65台分を一度に輸送することができます。この輸送効率性の高さは、当然、輸送コストにも反映されます。特に、より多くの貨物を長距離にわたって運ぶ「長距離幹線輸送」の分野で

は、鉄道コンテナ輸送のコスト優位性をより発揮することができます。

また、定時運行という鉄道輸送ならではの特性を活用して、「サプライチェーン」を効率化・最適化する取り組みも進んでいます。日々、定期的に一定量の製品を鉄道コンテナで運び、倉庫や物流センターに補充することで、必要以上に在庫を増やすことがなくなり、トータルでの物流コストを削減することが可能になります。

さらに、荷主企業間で鉄道コンテナを共同利用して往復で貨物を積載する「ラウンドユース」や、集荷・配達での共同化などに取り組む事例も増えており、鉄道コンテナ輸送を組み込んだ物流効率化やコストダウンの取り組みが盛んになっています。

鉄道コンテナ輸送のトータル運賃（例）

東京から福岡まで12ftコンテナで普通品を輸送する場合
※集荷・配達の距離は10kmとして計算

發送料 12,170円（東京貨物ターミナル駅〈東京都〉）

鉄道運賃 13,982円×5トン＝69,910円

到着料 10,970円（福岡貨物ターミナル駅〈福岡市〉）

トータル運賃 **93,200円**（端数処理後）

※ JR 貨物資料より

モーダルシフトによる一貫輸送サービス



お客様から発駅までのサービス

- 受付サービス
利用手続き代行
- 集荷サービス
集荷作業とその手配
- 付帯作業サービス
貨物保管、各種荷役、運送保険契約手続き
- 戸口間一貫サービス
到着地各種手配、着荷主連絡 等
- レール輸送力の定型
長期契約による安定的輸送力の提供

戸口から戸口への一貫輸送サービス

- 輸送管理情報の提供
鉄道コンテナの位置情報提供
- 用途に合わせた各種コンテナ
冷蔵・冷凍コンテナ、タンクコンテナ、大型コンテナ 等
- 輸送時間管理
日時指定輸送
- 異常時対応
輸送障害時における代行輸送 等
- アフターケア
輸送事故処理の手続き 等

着駅からお客様までのサービス

- 配達サービス
配達作業とその手配
- 付帯作業サービス
貨物保管、各種荷役
- 一貫パレット輸送サービス
パレット返送手配



生産性 〔労働力不足時代に最適な輸送手段〕

進むドライバー不足、鉄道コ ンテナ輸送で「運べない危機」を解消

少子高齢化による労働力不足が進む物流業界。将来にわたって物流の持続性を確保 するための手段として、生産性の高い鉄道コンテナ輸送を選ぶ必要があります。

■「ホワイト物流」実現へ、選ばれる鉄道コンテナ輸送

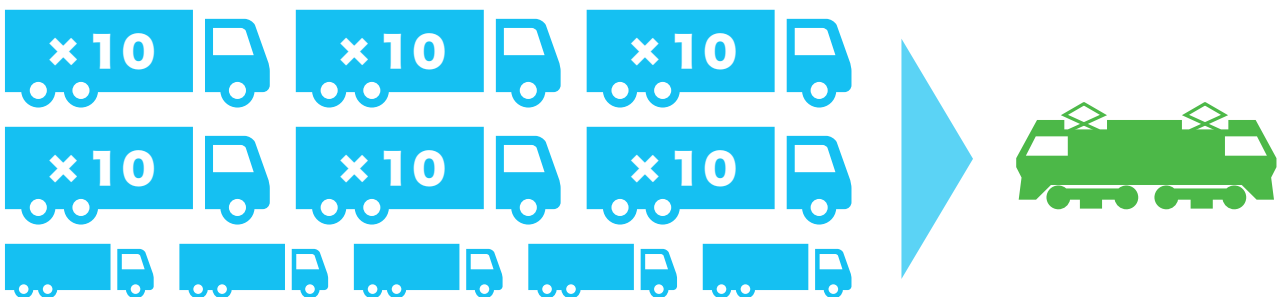
我が国ではいま、少子高齢化による労働人口減少が大きな課題となっています。労働集約型産業の典型である物流業界でも、トラックドライバー不足に代表される労働力不足が徐々に深刻化しており、「運べない危機」が目前に迫っているとの指摘もあります。公益社団法人鉄道貨物協会が発表した資料によると、2028年度には約28万人のトラックドライバーが不足するとの予測もあり、いかに物流の持続可能性を確保するかが、喫緊のテーマだと言われています。

さらに、2024年4月からは、トラックドライバーを含む自動車運転者に対し、時間外労働の上限規制を課す

新たな制度、いわゆる「物流の2024年問題」が始まりました。これにより、ドライバー1人当たりの労働時間が減ることになるため、このまま何の対策も講じなければ、2030年に日本全体の輸送能力が34%不足するとの予測も出ています。

そうした中で、鉄道コンテナ輸送は、1本の貨物列車で大型トラック65台分の貨物を運べる、つまり1人の運転士がドライバー65人分の貨物を輸送できる高い生産性があります。労働力不足という大きな課題を乗り越えて、働く人にやさしい「ホワイト物流」を実現するための手段のひとつとしての注目がさらに高まっています。

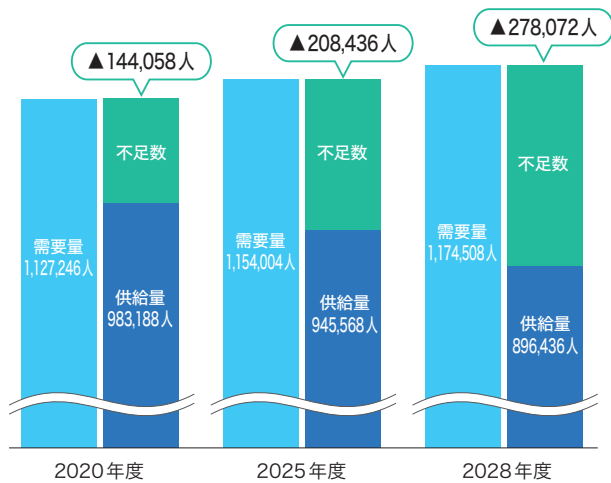
■貨物列車は最大で大型トラック65台分の貨物を輸送できます



長距離輸送のトラックドライバー不足問題

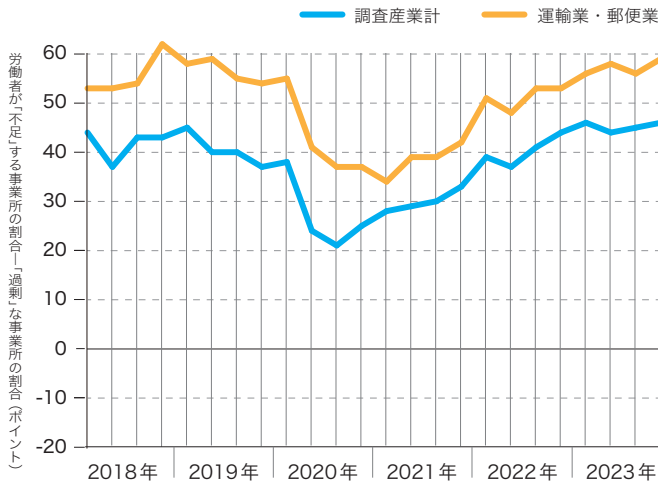
超高齢社会の日本では、少子化や人口減少などの社会変化に伴う構造的な労働力不足が進んでいるのに加え、長時間で低賃金な労働条件、輸送現場での厳しい実態、若年層で進む自動車離れといった物流業界特有の問題により、トラックドライバーの確保が今後ますます困難となることが予測されています。

■トラックドライバー需給の将来予測



※鉄道貨物協会調査資料より（2018年度）

■正社員等労働者の過不足状況



出典：厚生労働省「労働経済動向調査」

「ホワイト物流」推進運動とは？

トラックドライバー不足の深刻化で、国民生活や企業活動に不可欠な“物流の危機”が続く中、国土交通省をはじめとする行政は「ホワイト物流」推進運動に取り組み、賛同企業を募っています。

推進運動に賛同した荷主企業や物流事業者は、自主行動宣言を行い、「ホワイト物流」の実現に向けた自社の取り組みを進めています。その中で、トラックドライバーの長時間労働を削減するための荷待ち時間の短縮、パレット化による荷役作業の負担軽減などと並び、取り組みとして目立っているのが、「モーダルシフトの推進」です。幹線輸送を、生産性や効率性が高い大量輸送機関である鉄道や海運にシフトすることで、“物流の危機”を乗り越えようという取り組みが始まっています。



出典：「ホワイト物流」推進運動のポータルサイトより



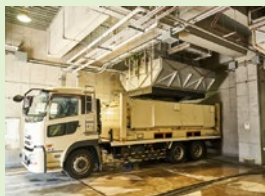
多様性

「輸送ニーズに応じた様々な「運び方」を実現」

幅広い輸送ニーズに最適な 輸送方法で応える鉄道コンテナ輸送

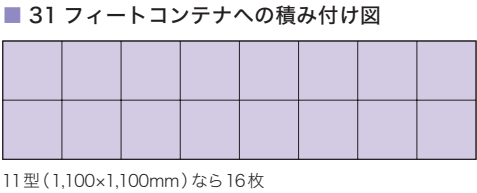
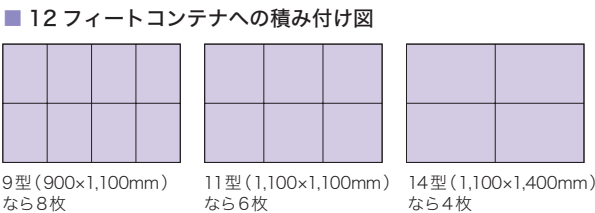
貨物の形状や特性は多種多様です。鉄道コンテナ輸送は、長年にわたって蓄積してきた経験とノウハウで、どんな貨物にも適切に対応したベストな「運び方」を提案します。

輸送事例

定型物 ダンボール等 12フィートコンテナでは、みかん箱サイズ(縦32cm、横44cm、高さ32cm)の段ボール箱を約400個積むことができます。	 飲料	 日用品 (31ftウイングコンテナ)	 温度管理が必要な商品
様々な形状 の貨物 袋状の貨物やタイヤ、やや大型の貨物などを荷崩れしないように1つのコンテナに積み付けて輸送することができます。	 樹脂	 建材	 タイヤ
特殊貨物/ その他 各種廃棄物や土砂、液体化成品は、専用の私有コンテナで輸送します。	 フレコン	 廃棄物 (無蓋コンテナ)	 液体・化成品 (タンクコンテナ)

「一貫パレチゼーション」が進んでいます！

物流業界の人手不足が進む中、パレットを使うことで、コンテナへの貨物の積み降ろし作業を効率化する必要性が高まっています。鉄道コンテナはもともと、パレットに合った規格になっており、貨物をパレットに積載することで集荷から配達までを効率化する一貫パレチゼーションが可能です。レンタルパレットを利用することで、さらに効率性を高める取り組みも増えています。



■ パレット寸法と鉄道コンテナ(19D形式)に積めるパレット数

積載枚数	8枚	6枚	8枚	6枚	6枚	4枚	4枚
パレット寸法(mm)	800×1,100	800×1,200	900×1,100	1,100×1,100	1,100×1,200	1,100×1,300	1,100×1,400

31フィートコンテナでモーダルシフトを容易に

31フィートコンテナは大型トラックとほぼ同じサイズなので、モーダルシフトを容易に行うことができます。

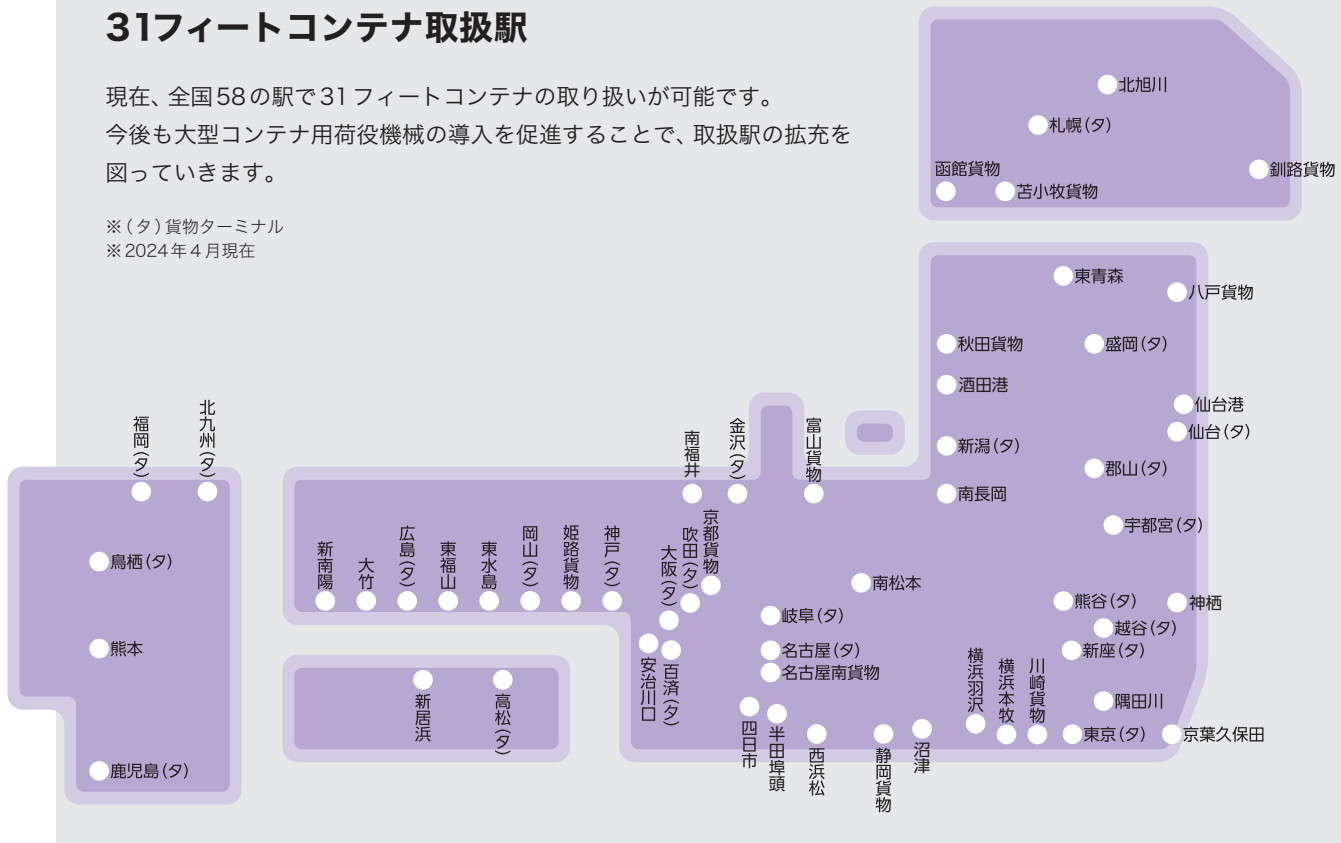
- トラック輸送のシステムをそのまま活用できます。
- 従来の大型トラックを使っていた時と、出荷・入荷のロットを変える必要がなく、荷揃えは従来のまま
- 11型(1,100×1,100mm)のパレットなら、大型トラックと同様に16枚積載可能
- ウイング仕様なので両側面からのフォークリフト荷役が可能
- コンテナ番号による輸送管理が可能



31フィートコンテナ取扱駅

現在、全国58の駅で31フィートコンテナの取り扱いが可能です。今後も大型コンテナ用荷役機械の導入を促進することで、取扱駅の拡充を図っていきます。

※(タ) 貨物ターミナル
※2024年4月現在



用途に合わせて選べるコンテナ

ラインナップ

両側二方 両側二方開き 側妻二方 側妻二方開き 側妻三方 側妻三方開き

妻一方 妻一方開き 一般 一般雑貨用 海 陸 海陸両用

		外法寸法 (mm)	内法寸法 (mm)	妻入口 (mm)	側入口 (mm)	床面積	内容積	積載重量	温度 調整範囲	保有個数 ※2024年4月現在		
JR 貨物 コンテナ	12 フィート コンテナ	19D 	両側二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,500	長さ 3,647 幅 2,275 高さ 2,252	—	幅 3,635 高さ 2,187	8.3m ²	18.7m ³	5,000kg	—	22,175個
	19G 	側妻二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,500	長さ 3,587 幅 2,325 高さ 2,232	幅 2,307 高さ 2,158	幅 3,525 高さ 2,187	8.3m ²	18.6m ³	5,000kg	—	7,438個	
	20D(背高) 	両側二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,600	長さ 3,647 幅 2,275 高さ 2,352	—	幅 3,635 高さ 2,287	8.3m ²	19.5m ³	5,000kg	—	11,765個	
	20G(背高) 	側妻二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,600	長さ 3,593 幅 2,323 高さ 2,342	幅 2,307 高さ 2,258	幅 3,531 高さ 2,287	8.3m ²	19.5m ³	5,000kg	—	6,797個	
	12 フィート 通風 コンテナ	V19B 	側妻二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,500	長さ 3,587 幅 2,308 高さ 2,228	幅 2,307 高さ 2,158	幅 3,525 高さ 2,187	8.3m ²	18.5m ³	5,000kg	—	3,260個
		V19C 	両側二方 一般 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,500	長さ 3,647 幅 2,275 高さ 2,245	—	幅 3,635 高さ 2,187	8.3m ²	18.6m ³	5,000kg	—	9,111個
20 フィート コンテナ	30D 	側妻三方 一般 海 陸	長さ 6,150 幅 2,490 高さ 2,500	長さ 6,007 幅 2,328 高さ 2,178	幅 2,200 高さ 2,061	幅 5,961 高さ 2,061	14.0m ²	30.4m ³	8,800kg	—	249個	
	31 フィート コンテナ	ウイングコンテナ 	側妻三方 一般	長さ 9,410 幅 2,490 高さ 2,605	長さ 9,240 幅 2,350 高さ 2,210	幅 2,310 高さ 2,210	幅 8,503 高さ 2,822 (開口時)	21.7m ²	48.0m ³	13,800kg	—	139個

		外法寸法 (mm)	内法寸法 (mm)	妻入口 (mm)	側入口 (mm)	床面積	内容積	積載重量	温度 調整範囲	保有個数 ※2024年4月現在		
31 フットコンテナ	ウイングコンテナ		側妻三方 一般	長さ 9,410 幅 2,490 高さ 2,605	長さ 9,240 幅 2,350 高さ 2,210	幅 2,310 高さ 2,210	幅 8,503 高さ 2,822 (開口時)	21.7m ²	48.0m ³	13,800kg	-	979個
	全通31フィート冷凍コンテナ	UF44A	妻一方 一般	長さ 9,410 幅 2,490 高さ 2,641	長さ 8,510 幅 2,261 高さ 2,272	幅 2,301 高さ 2,155	-	19.24m ²	43.71m ³	12,700kg	-30℃~ 25℃	87個
	6 フットコンテナ	NEL	側妻二方 一般	長さ 2,420 幅 1,790 高さ 2,180	長さ 2,279 幅 1,649 高さ 1,989	幅 1,575 高さ 1,914	幅 2,218 高さ 1,914	3.7m ²	7.48m ³	2,000kg	-	524個
	スーパーURコンテナ	UR17A	側妻二方	長さ 3,715 幅 2,490 高さ 2,500	長さ 3,475 幅 2,240 高さ 2,120	幅 2,237 高さ 2,098	幅 3,382 高さ 2,098	7.78m ²	16.5m ³	4,700kg	-	253個
冷蔵コンテナ	UR19A		側妻二方	長さ 3,715 幅 2,485 高さ 2,500	長さ 3,615 幅 2,339 高さ 2,217	幅 2,275 高さ 2,169	幅 3,612 高さ 2,169	8.46m ²	18.74m ³	5,000kg	-	6,291個
ハイブリッドコンテナ	UV19A		両側二方 海 陸	長さ 3,715 幅 2,450 高さ 2,591	長さ 3,642 幅 2,277 高さ 2,303	-	幅 3,635 高さ 2,205	8.3m ²	19.1m ³	5,000kg	-	765個
無蓋コンテナ	20フット			長さ 6,058 幅 2,438 高さ 1,730	長さ 5,890 幅 2,121 高さ 1,150	-	-	12.49m ²	10.0m ³	10,000kg	-	1,633個
ISO規格コンテナ	20フィートタンクコンテナ			長さ 6,058 幅 2,438 高さ 2,591	-	-	-	17,500ℓ	24,000kg (最大総重量)	-	-	

私有コンテナは、標準的なサイズのものに記載しています。上記以外にも、サイズ・形状などの異なるさまざまなタイプをご用意しています。

多様な「運び方」を実現するためのサービスの提供

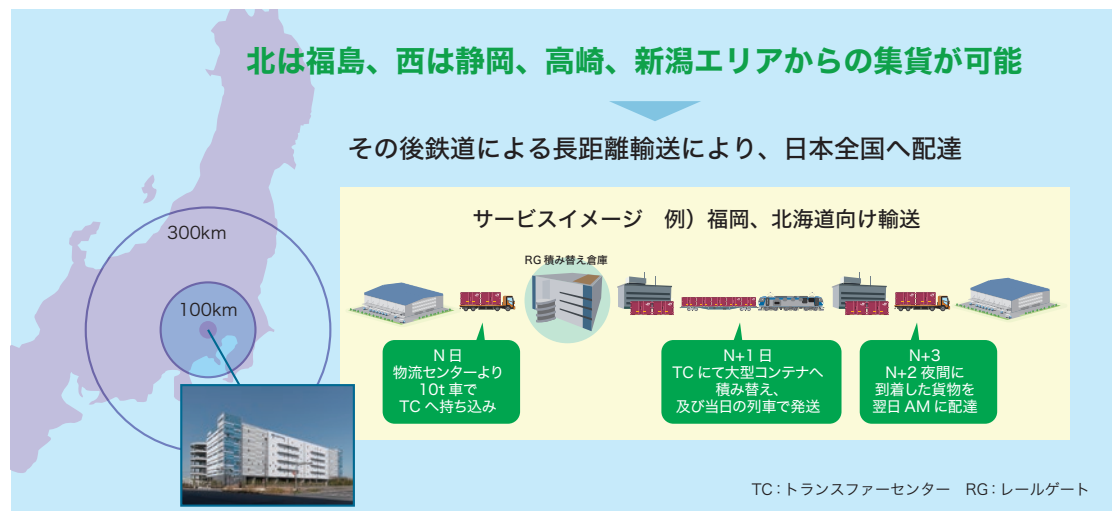
トラック事業においては、2024年4月から働き方改革関連法の施行により時間外労働の上限（休日を除く年960時間）規制等が適用されました。この規制は、「2024年問題」と称され、とりわけ他の業態よりも労働時間が長いとされるトラック事業については、労働時間が制限されることで、トラックの長距離運行が難しくなることが見込まれています。

鉄道コンテナ輸送をさらに拡大していくためには、鉄道輸送とお客様とのアクセスの多様化を図ることが重要であり、JR貨物では、そのための取り組みとして、トラックと鉄道による最適な組み合わせである、「モーダルコンビネーション」の推進に向け、様々な取り組みを展開しています。

1. レールゲート等の物流施設を拠点とした積替サービスの展開

お客様と貨物駅間の集配距離にとらわれることなく、物流事業者の機動的な集貨配達と東京レールゲート等の物流施設でのテナント企業によるトラックからコンテナへの積み替えを行うことによって、鉄道輸送に組み合わせるサービスです。これにより、これまで鉄道輸送をご利用いただけていなかった集配距離の長い貨物の鉄道利用が可能となります。

今後も札幌レールゲートや全国の物流施設を拠点とした積替サービスの拡充を図ります。



2. 「積替ステーション」の増設

「積替ステーション」とは、貨物駅構内あるいはその近隣に位置する貨物上屋・倉庫に、安全で天候の影響を受けにくい作業スペースを確保し、トラックで持ち込んだ貨物を鉄道コンテナに積み替えられる設備です。鉄道コンテナ輸送は、一般的にコンテナ専用トラックが集貨配達を行います。が、「積替ステーション」を利用することで、一般のトラックでも貨物を持ち込むことができ、鉄道コンテナ輸送を利用する機会がさらに広がります。

JR貨物では、2020年7月の新座貨物ターミナル駅での開設を皮切りに、これまで松山貨物駅、東京貨物ターミナル駅、水沢駅、岐阜貨物ターミナル駅等、12駅に「積替ステーション」を設置しています。

今後も需要が見込まれる駅において、22 駅を目標に設置する予定です。

積替ステーション設置駅			(2024年7月1日現在)
函館貨物駅	水沢駅	八戸貨物駅	
東青森駅	秋田貨物駅	郡山貨物ターミナル駅	
東京貨物ターミナル駅	相模貨物駅	新座貨物ターミナル駅	
岐阜貨物ターミナル駅	百済貨物ターミナル駅	松山貨物駅	



積替ステーション（東京貨物ターミナル駅）



積替ステーション作業風景（東京貨物ターミナル）



積替ステーション(新座貨物ターミナル駅)

国際物流でも活躍する鉄道コンテナ輸送

①ダイレクト輸送サービス

定期コンテナ船で輸出入されるISO規格の国際海上コンテナ（20ft・40ft）を、そのまま鉄道貨車に積載した直行輸送。



東京港に隣接する東京貨物ターミナル駅と盛岡貨物ターミナル駅を結ぶ東北線では、40ftハイキューブ（背高）コンテナまでダイレクトに鉄道輸送が可能。重量30.48tのフル積載コンテナにも対応。

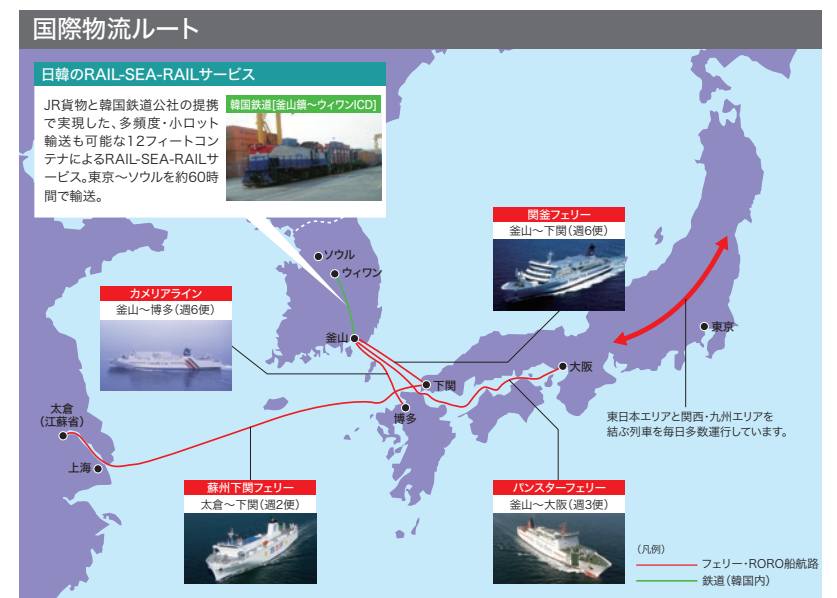
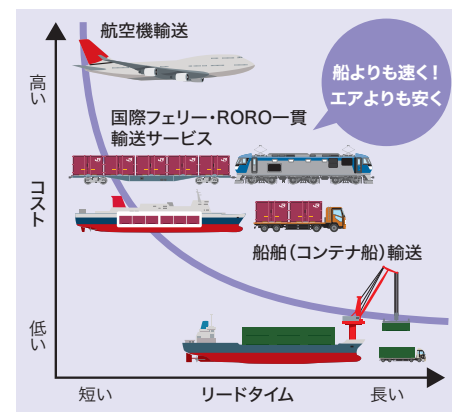
[計画中]

横浜本牧駅～宇都宮(夕)駅(高さ9.6ft可)、
大阪(夕)駅～金沢(夕)駅(高さ8.6ft以下)



②国際フェリー・RORO 一貫輸送サービス

日中・日韓を結ぶフェリー + 鉄道レール
ネットワークを活用した国際複合一貫輸送。



③クロスドック輸送サービス (海コン⇄JRコン積替輸送)

貨物駅内・駅チカ倉庫で国際海上コンテナとJRコンテナ間の貨物を迅速に積替えて鉄道輸送。

貨物駅構内に設置した積替施設にて迅速にJRコンテナと海上コンテナ間の貨物の積替えを行うことにより、全国のレールネットワークをフル活用して輸出入貨物の鉄道輸送が可能です。また、近隣の港湾積替施設との連携を進めています。（写真は東京貨物ターミナル駅内の積替えの例）



輸入貨物

輸出貨物



JR12ftコンテナ

バン/デバン



確実性

〔渋滞のないダイヤによる定時運行〕

北海道から九州まで日本全国を 定時運行で結ぶ 鉄道コンテナ輸送ネットワーク

確実性をサプライチェーンの効率化に

コンテナを取り扱う貨物駅は全国に約140カ所。そのネットワークの上を毎日約400本のコンテナ列車が走り、我が国の物流活動を支えています。列車はすべて運行ダイヤに基づいた定時運行で、渋滞などによる遅延もありません。この鉄道コンテナ輸送の全国ネットワークを自社の物流システムに活用することで、サプライチェーンを効率化・最適化することができます。

主要都市間の所要概算時間

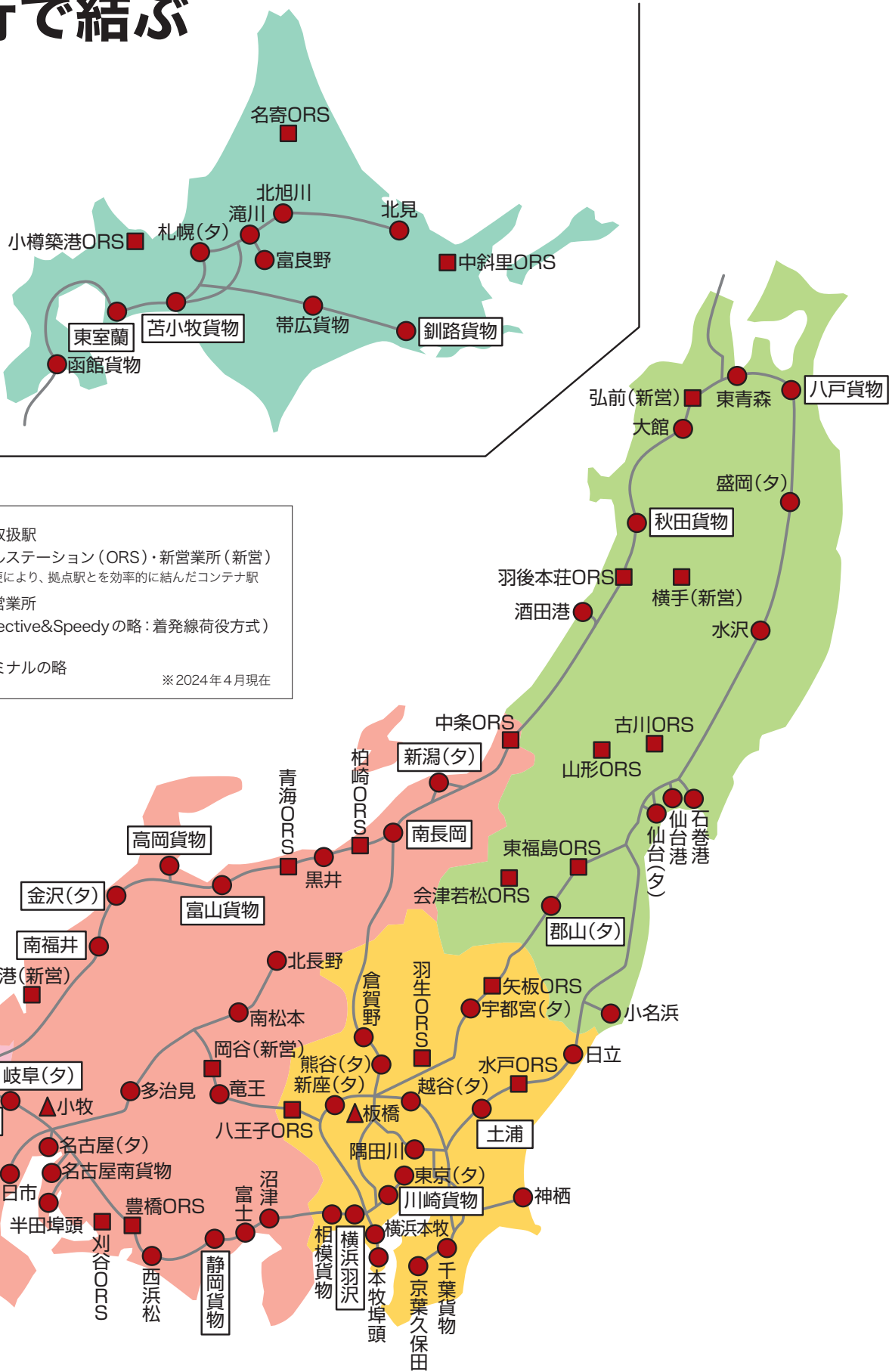
					札幌		
					仙台	新潟	東京
					16 時間	28 時間	10 時間
					14 時間	20 時間	8 時間
						34 時間	7 時間
						20 時間	8 時間
							18 時間
							7 時間
							8 時間
							19 時間
							32 時間
							10 時間
							14 時間
							15 時間
							30 時間
							9 時間
							9 時間
							11 時間
							20 時間
							23 時間
							32 時間
							6 時間
							7 時間
							10 時間
							11 時間
							23 時間
							26 時間
							27 時間
							29 時間
							31 時間
							29 時間
							24 時間
							31 時間
							44 時間

発駅の荷役線出線時刻から着駅での引渡し開始時刻まで

●表の見方

新潟	10 時間	新潟→東京の所要時間
東京	7 時間	東京→新潟の所要時間

● コンテナ取扱駅
■ オフレールステーション (ORS)・新営業所 (新営)
※トラック便により、拠点駅とを効率的に結んだコンテナ駅
▲ コンテナ営業所
□ E&S (Effective&Speedy の略: 着発線荷役方式) 駅を表す
(タ) 貨物ターミナルの略
※2024年4月現在





安全性 [システムが支える安全かつ効率的な輸送体制]

最新システムが安全でスムーズな鉄道コンテナ輸送サービスを実現

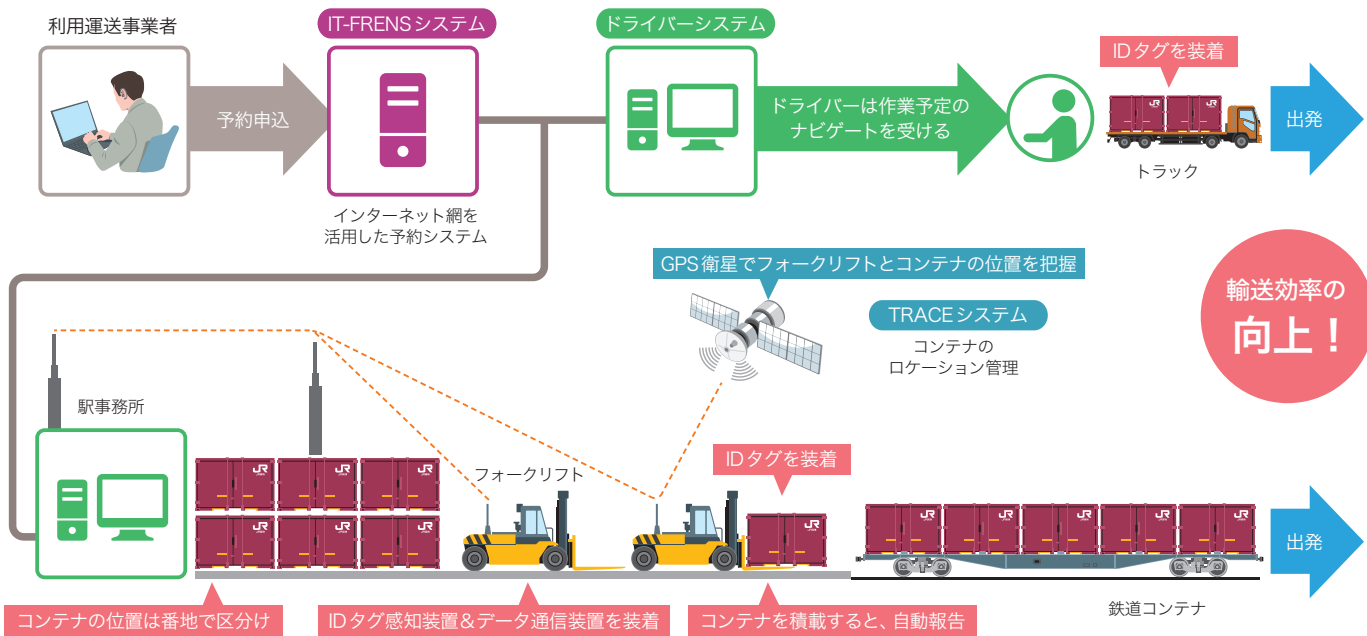
安全・安心かつ効率的で安定した輸送体制を提供するために、JR貨物は日々、システムの導入や更新に力を入れています。

IT-FRENS&TRACE システム

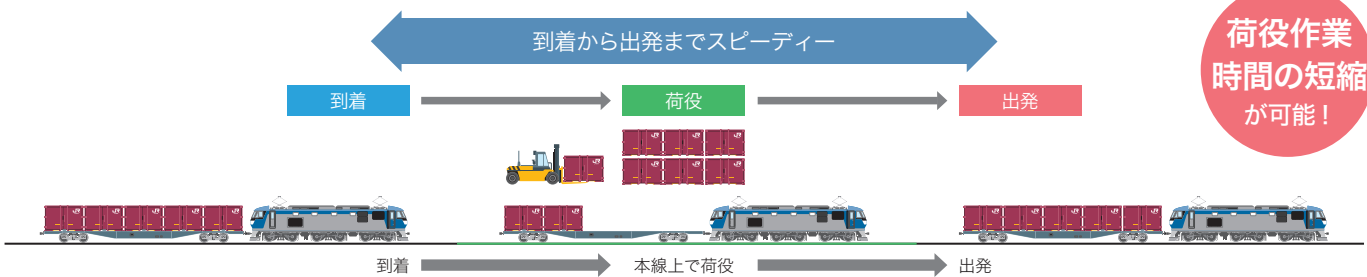
輸送枠予約の効率化や荷役作業のスピード化を実現

インターネットを活用した予約システムで、利用運送事業者の列車輸送枠の予約作業を軽減します。また、貨物の納期に合わせて輸送枠を自動調整する機能で、効率的な輸送枠の確保を支援します。さらに、GPSとIDタグ（無線ICタグ）を使ってコンテナ荷役作業を管理し、貨物駅での作業時間を短縮するとともに、輸送の正確性を高めています。

IT-FRENS & TRACE システム



E & S（着発線荷役）方式



リードタイム短縮とコスト削減を実現

貨物列車が発着する本線上にコンテナ用荷役ホームを設けてコンテナ荷役作業を行うことを「E & S（着発線荷役）方式」といいます。列車が到着した直後から作業が開始でき、そのまま発車できるため、駅構内での複雑な列車の入換作業が不要で、リードタイム短縮とコスト削減につながります。

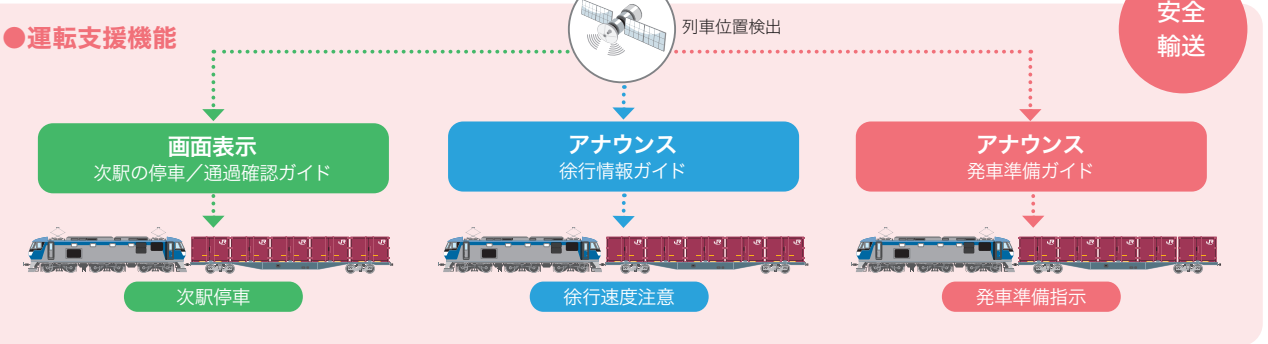
運転支援システム「PRANETS」

GNSS※で列車走行位置を把握、安全・安定輸送をサポート

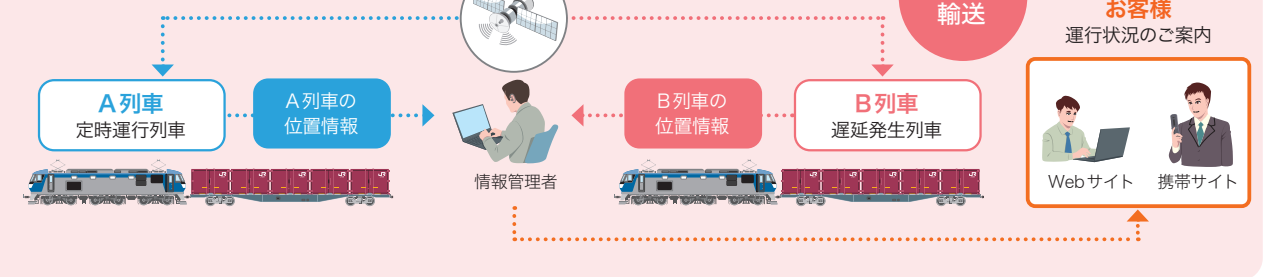
PRANETSは、GNSSを利用して貨物列車の走行位置をリアルタイムで特定。運転士に情報提供を行うことで、運転操縦をサポートするシステムです。このシステムが導入されたことで、ヒューマンエラーを未然に防ぐことができるようになったほか、列車の位置情報を把握できる機能により、列車遅延時や事故発生時などに迅速な対応が可能になるなど、さらなる安全・安定輸送の確立に力を発揮しています。

（※GNSS：Global Navigation Satellite System/ 全球測位衛星システム GPSやGLONASS等による衛星測位システム）

運転支援システム「PRANETS」



列車位置情報把握機能



T-DAP（トラックドライバー用アプリ）

スマートフォンアプリを活用して、トラックドライバーへの情報伝達を迅速化するT-DAP（トラックドライバー用アプリ）。2022年1月からの試運用を経て、23年6月から全国79のコンテナ取扱駅での運用を開始しました。

T-DAPには主に3つの便利な機能があります。「駅からのお知らせ」は、列車遅延による駅構内作業の変更、荷役線入線時刻などをお知らせします。「コンテナ位置情報」は、駅構内でのコンテナの所在位置をマップ表示します。「列車位置・遅延情報」は、貨物列車の走行位置や運転状況、遅延後の到着予定時刻などをリアルタイムに提供します。コンテナの集配業務を担うトラックドライバーが“知りたい情報”を迅速に提供することで、生産性向上に加えて、労働時間短縮など「2024年問題」解決の一助になることを目指しています。



大成ユーレック株式会社
代表取締役社長

あおき たく
青木 卓氏

大成ユーレック株式会社
取締役常務執行役員 建設本部長

しげむら まさよし
重村 正典氏

鉄道コンテナ輸送で自社の“強み”伸ばす戦略を加速 環境貢献に加え、「2024年問題」対策も

大成建設のグループ会社として、PC（プレキャスト鉄筋コンクリート）部材を用いた集合住宅の建設を主な事業内容とする大成ユーレック。「物流の2024年問題」が顕在化し、大型トラックによる長距離輸送の維持が大きな課題となるなか、2023年6月から自社工場～建設現場間のPC部材の輸送で鉄道コンテナの利用を開始しました。今後は、環境負荷低減効果が高いPC工法による施工比率をさらに高めるため、無蓋コンテナの活用を視野に入れるなど、鉄道コンテナ輸送の利用拡大を検討しています。同社の青木卓社長と重村正典常務にお話を伺いました。

（2023年6月取材：ご所属、ご役職は取材時のものとなります）

■自社工場～建設現場のPC部材輸送で鉄道利用を開始

大成ユーレックは、大型コンクリートパネルによる集合住宅建設を主体とする企業として、1963年に大成建設の住宅部門から分離独立し設立されました。PC部材を用いたマンションなど集合住宅の建設を得意としており、川越工場（埼玉県川越市）と千葉工場（千葉県千葉市）の2カ所に製造拠点を構えています。PC工法は、工場であらかじめ製造した鉄筋コンクリートパネルを輸送・搬入して施工現場で組み立てるもので、耐震性や遮音性に優れていることに加え、工事車両の削減や工期短縮などによる環境負荷低減効果が大きい工法です。建設業界は人手不足という課題を抱えており、少人数による施工が可能なPC工法は今後も拡大が見込まれています。

PC部材の輸送はこれまで、大型トラックで工場から建設現場まで運んでいましたが、トラックドライバーの労働時間規制が強化される「物流の2024年問題」が目前に迫るなか、トラック輸送だけに依存する体制を見直す必要が生じていました。また、当社はゼネコン業界では珍しくPC部材を自社で製造していることが強みになっていますが、その一方でPC部材の工場が川越にあるため、建設現場が西日本など遠距離にある場合、輸送コスト面との折り合いから在来工法を選択せざるを得ないこともありました。2024年4月以降、トラック運賃がさらに上昇すれば、PC部材のトラック輸送がこれまで以上に難しくなるという課題にも頭を悩ませていました。

そうした時、鉄道コンテナ輸送という輸送手段があることに思いが至り、トライしてみることにしました。鉄道輸送は長距離になればなるほどコスト優位性が高まることも当社にとってプラスでし、川越工場の近隣に新座貨物ターミナル駅があるという条件にも恵まれていました。テスト輸送では、あえて壊れやすい部材を選んでひび割れや欠けなどの損傷をチェックしたほか、振動計を装着して輸送時や荷役時の振動などを計測しました。その結果、輸送品質面で問題ないことが確認できたことから、本格的に利用することを決定しました。

2023年6月から8月まで、愛知県内の建設現場（5階建・362戸）向けに12ftコンテナ65基分の階段板を輸送したほか、同時期に広島県内の現場（4階建・75室）向けにも12ftコンテナ21基分のPC部材を運びました。両案件ともトラックで輸送した場合に比べ、CO₂排出量が65%削減、70%削減になるなど環境負荷低減効果が非常に高くなっています。また、23年12月にも、滋賀県で実施される建設現場（5階建・120戸）向けに12ftコンテナ67基分のPC部材を鉄道輸送することを計画しています。



川越工場を出発するPC部材を積んだ12ftコンテナ

■さらなる利用拡大を見据え、無蓋コンテナの利用も検討

鉄道コンテナ輸送を開始したことによる最大のメリットは、PC工法の比率を高めることにつながることです。鉄道輸送によって遠距離輸送がコスト面からも可能になることで、PC部材を自社生産している当社の強みをより発揮することができるようになります。また、輸送スケジュール面での許容度が高いことも鉄道輸送のメリットのひとつです。建設現場は天候などによってスケジュールの変更が避けられませんが、鉄道輸送の場合、施工現場近くの貨物駅で数日間はコンテナを留置することができるため、急な搬入日の変更などにも柔軟に対応することができます。

一方、鉄道利用の拡大に向けた課題は、鉄道コンテナで運べるPC部材をいかに増やしていけるかです。現在は12ftコンテナ内に納まる部材を中心に運んでいますが、コンテナサイズに合わせた部材設計や、より大型の部材を運ぶことができる無蓋コンテナの利用も検討していきます。



川越工場から輸送されたPC部材を広島県の建設現場で組立て

工場や建設現場では通常、クレーンを使ってPC部材の揚重作業を行っており、無蓋コンテナを使うことで同様の作業が可能になります。当社ではセグメントと呼ばれているトンネル用の土木部材も製造しており、それらの運搬にも適用できるのではと考えています。ただ、専用の無蓋コンテナを利用していくためには、往復利用など効率を高める必要もあるため、同業他社との連携なども検討する余地があるのではないかと考えています。

鉄道コンテナ輸送は、大成建設グループが掲げる環境方針にも沿っているほか、「物流の2024年問題」への対策、当社の課題だったPC工法比率の拡大といった課題への解決方法として“いいことづくめ”だと考えています。今後も製造と運び方の両面から鉄道コンテナ輸送の拡大にチャレンジしていきます。



For a Lively World

大成ユーレック株式会社

1963年8月1日に、大成建設の子会社として設立。自社工場で製造するPC部材を用いた集合住宅の建設を中心に事業を展開。本社は東京都港区虎ノ門、資本金は45億円、売上高は357億円（2023年3月期）。従業員数は466名で、うち一級建築士は82名（2023年3月末現在）。



株式会社 明治
生産物流プロセス戦略本部 物流部 部長
むらた のぶゆき
村田 信之氏

明治ロジテック株式会社
取締役 運営推進部長
あらい けんこ
荒井 健吾氏

鉄道コンテナ輸送の積極活用で、持続可能な物流を構築 物流現場の負荷を軽減し“選ばれる荷主”を目指す

これまで常温製品を中心に鉄道コンテナ輸送を拡大してきた明治。2021年からは、岡山県内の工場から埼玉県倉庫までの粉末プロテインの輸送において、31ftオートフロアコンテナを活用した鉄道モーダルシフトを開始し、高い注目を集めました。今後は、温度管理が必要な製品についても鉄道利用を検討するなど、環境面を含め持続可能な物流の構築に力を入れていきます。物流会社から“選ばれる荷主”になることを第一義に掲げる同社の取り組みについて、物流部の村田信之部長と物流子会社である明治ロジテックの荒井健吾取締役にお話を聞きました。

(2023年6月取材：ご所属、ご役職は取材時のものととなります)

■粉末プロテインの鉄道輸送でオートフロアコンテナを活用

当社は以前から北海道から本州などに向けて運ばれる脱脂粉乳など、常温品を中心に鉄道輸送を利用してきました。数年前にトラックドライバー不足が顕在化した際にも、切り替えが可能なルートについては鉄道へのシフトを積極的に進めてきました。ただ、牛乳やヨーグルトといったチルド品や、チョコレートなどの菓子類は温度管理が必須であり、鉄道への切り替えが容易ではないのが実情です。そのため、輸送全体に占める鉄道利用の比率は近年、やや頭打ちになっていました。

そうしたなか、倉敷工場（岡山県倉敷市）で製造している粉末プロテイン「ザバス」の埼玉県坂戸市の自社倉庫への輸送の一部を、2021年9月から31ftオートフロアコンテナを使った鉄道輸送に切り替えました。オートフロアコンテナとは、荷台の床が電動でスライドするコンテナのことです。パレット積みした製品を荷室の入り口に積み、床ごと奥にスライドさせることで荷物を荷室の奥まで移動することができるため、荷役作業時間の短縮に加え、作業者の業務負荷の軽減や安全性向上につながります。当社の物流センターや倉庫では、温度管理の必要性からドックシェルターを採用しているため、コンテナ後部からしか荷役作業を行うことができません。しかし、そのような条件下でも作業者の負担を少しでも軽減したい——そうした思いからオートフロアコンテナの採用に至りました。

また、これまでは片道での運用でしたが、2023年2月から昭和産業様が船橋工場（千葉県船橋市）から兵庫県神戸市内の倉庫までの輸送でオートフロアコンテナの利用を開始したことにより、往復でのラウンド輸送が実現し、より環境にやさしい効率的な輸送スキームを構築することができました。



床が電動でスライドするオートフロアコンテナ

■輸送モードのバランス最適化へ、鉄道利用率を拡大

当社では、持続可能な物流体制を確立していくために、トラックと船舶、鉄道を最適なバランスで利用していくことが大事であり、そのためには鉄道輸送の比率をこれまで以上に高めていく必要があると考えています。現在、ドライバーの労働時間規制が強化される「物流の2024年問題」を前に、長距離輸送を中心に輸送ルートの洗い出しを進めていますが、トラックを集めにくく、労務管理が厳しくなることが予想される区間では、鉄道への切り替えを進めていきたいと考えています。

また、温度管理が必要な製品の鉄道利用についても、今後は従来以上に踏み込んだ検討を行っていきます。現在、北海道の函館にある生産子会社で製造した菓子の一部を冷凍機付きのコンテナで運んでいるほか、大阪工場（大阪府高槻市）から札幌向けのチョコレート菓子の輸送で31ft低温コンテナによる鉄道輸送を行っています。ごく一部での利用にとどまっています。牛乳やヨーグルトなど賞味期限が短い製品の鉄道輸送は引き続きハードルが高いものの、温度管理が比較的緩やかな製品については、拡大の余地は十分にあると思います。今後、技術面を含めた検討をJR貨物さんや利用運送事業者の皆さんとともに進めていきたいと考えています。

環境対応の面からも鉄道コンテナ輸送の拡大は欠かすことができません。明治グループでは長期環境ビジョンの中で、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指しており、その一環から物流部門ではモーダルシフトのさらなる推進に取り組んでいます。

当社はサステナブルな物流体制を構築するため、物流会社から“選ばれる荷主”になることを最大のテーマに掲げています。物流現場への負荷を少しでも軽減していくために、当社としてやれることは積極的に取り組んでいきたいと考えています。荷役作業や附帯業務をできるだけなくし、ドライバーのハンドル時間を最大化していくほか、オートフロアコンテナに代表される最新機器を導入していくことで、これからも持続可能な物流の構築に貢献していきます。



今後は31ft低温コンテナの利用拡大も

健康にアイデアを
meiji

株式会社 明治

明治ホールディングス株式会社の100%子会社。2011年4月に明治グループの事業再編により、食品事業を担う。乳製品、加工食品、菓子、栄養などの各事業を展開。明治ロジテックはフローズン、チルド、ドライの食品全温度帯をカバーする食品物流のスペシャリスト。

お近くの鉄道利用運送事業者一覧

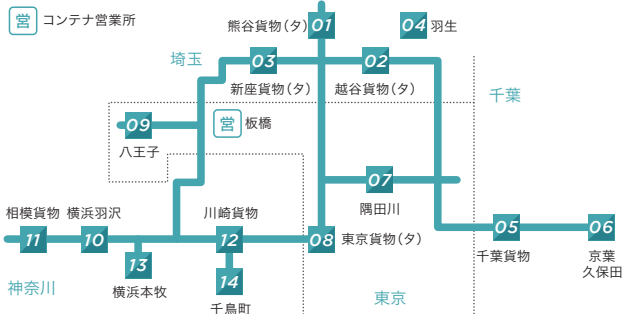
栃 木

07 宇都宮貨物ターミナル駅

河内郡上三川町 20?31?海

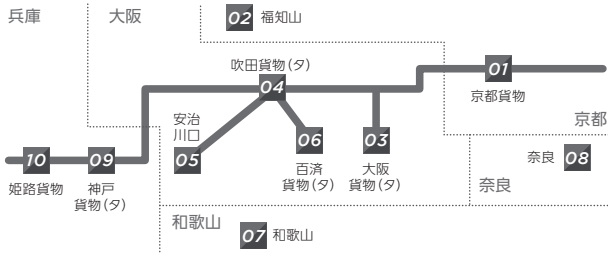
日本通運	(0285) 53-3441
関東通運	(0280) 92-1211
下館地区通運	(0296) 24-5575
烏山通運	(0287) 82-2045
栃木県北通運	(0285) 52-3080
栃南通運	(0285) 53-1137
芳賀通運	(0285) 53-1300
東両毛通運	(0284) 72-2210
ヤマト運輸	(0285) 52-2003
ロジネットジャパン東日本	(080) 8280-3459
東武運輸	(0285) 53-3446
東京福山通運	(0285) 53-1110
丸和通運	(0285) 52-3050
丸運	(0285) 84-8897
丸全昭和運輸	(0289) 76-1546
相良運輸	(028) 684-1919
全国通運	(0285) 53-3446
日本フレートライナー	(0285) 53-2523
SBSロジコム	(03) 3790-0651
高崎通運	(048) 533-5600

関東 -B



お近くの鉄道利用運送事業者一覧

近 畿



京 都

01 京都貨物駅
京都市下京区 20?31?海

日本通運 (075)311-7200
京都通運 (075)314-9601
濃飛倉庫運輸 (075)314-2311
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (06)7661-6611

02 福知山オフレールステーション
福知山市 12???

日本通運 (0773)20-5588
センコー (06)7878-6500

大 阪

03 大阪貨物ターミナル駅
摂津市 20?31?海

日本通運 (06)6757-1004
京都通運 (075)314-9601
合通ロジ (06)6340-5967
センコー (06)7878-6500
近畿通運 (06)6340-2255
大同通運 (0798)22-4781
神港通運 (078)739-7585
神戸通運 (078)736-4717
濃飛倉庫運輸 (06)6827-2941
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (06)6340-5518

04 吹田貨物ターミナル駅
吹田市 20?31?海

日本通運 (06)6757-1004
合通ロジ (06)6170-5389
センコー (06)7878-6500
近畿通運 (06)6382-1123
大同通運 (0798)22-4781
神港通運 (078)739-7585
神戸通運 (078)736-4717
濃飛倉庫運輸 (06)6827-2941
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (06)7661-6611

05 安治川口駅
大阪市此花区 31??海

日本通運 (06)6757-1004
合通ロジ (06)4804-1988
センコー (06)7878-6500
近畿通運 (06)6758-1188
大同通運 (0798)22-4781
神港通運 (078)739-7585
濃飛倉庫運輸 (06)6827-2941
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (06)6467-2505

06 百済貨物ターミナル駅
大阪市東住吉区 20?31?海

日本通運 (06)6757-1004
合通ロジ (06)6757-6515
センコー (06)7878-6500
近畿通運 (06)6758-1188
大同通運 (0798)22-4781
神港通運 (078)739-7585
濃飛倉庫運輸 (06)6827-2941
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (06)6754-0322

和歌山

07 和歌山新営業所
和歌山市 12??新

日本通運 (073)477-7220
合通ロジ (073)477-2568

奈 良

08 奈良コンテナ通運デポ
橿原市 12??D

日本通運 (0744)29-1347

兵 庫

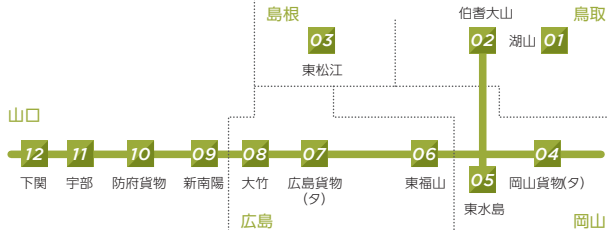
09 神戸貨物ターミナル駅
神戸市須磨区 20?31?海

日本通運 (078)739-6880
神港通運 (078)739-7585
神戸通運 (078)736-4717
上組 (078)731-3401
合通ロジ (078)739-6322
センコー (078)739-7075
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (078)739-7050

10 姫路貨物駅
姫路市 20?31?海

日本通運 (079)253-6241
姫路倉庫運輸 (079)253-2671
高砂通運 (079)423-0861
西播通運 (079)122-3000
龍野運送 (0791)62-1025
センコー (079)252-6951
合通ロジ (079)253-6252
全国通運 (06)7688-5033
日本フレートライナー (079)252-4193

中 国



鳥 取

01 湖山オフレールステーション
鳥取市 12???

日本通運 (0852)28-0202
因伯通運 (0857)53-5000
全国通運 (082)283-9300

02 伯耆大山駅
米子市 20???

日本通運(米子) (0859)37-1526
NX境港海陸 (0859)42-2121
因伯通運 (0859)22-2251
全国通運 (082)283-9300
日本通運(王子) (0859)37-1022

島 根

03 東松江新営業所
松江市 12??新

日本通運 (0852)61-0230
山陰運送 (0852)37-1100
全国通運 (082)283-9300

岡 山

04 岡山貨物ターミナル駅
岡山市北区 20?31?海

日本通運 (086)241-1521
岡山県貨物運送 (086)241-1588
岡山通運 (086)241-1577
水島臨海通運 (086)241-8944
センコー (086)805-0015
トナミ運輸中国 (082)284-4747
全国通運 (082)283-9300
日本フレートライナー (086)241-2263

05 東水島駅
倉敷市 20?31?海

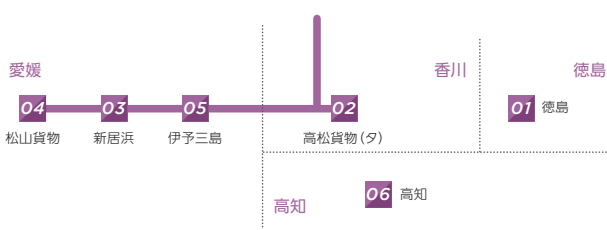
水島臨海通運 (086)455-7141
岡山通運 (086)241-1577
日本トランスシティ (086)455-2266
センコー (086)455-3638
尾道諸品倉庫 (086)525-1567
全国通運 (082)283-9300

広 島

06 東福山駅
福山市 20?31??

NX備通 (084)941-2513
福山通運 (084)941-0070
東福山合同通運 (084)941-5653
笠岡通運 (084)941-2046
水島臨海通運 (084)940-0061
尾道諸品倉庫 (0848)25-4151
全国通運 (082)283-9300
日本フレートライナー (084)999-1361

四 国



徳 島

01 徳島オフレールステーション
鳴門市 12???

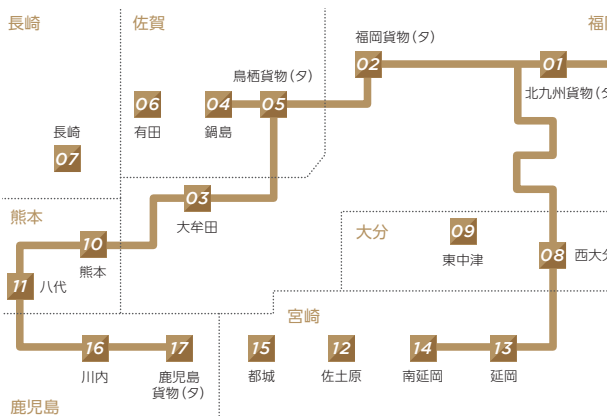
NX徳通 (088)686-2162
阿波池田通運 (0883)72-1250
牟岐線通運 (0884)27-3330
四国名鉄運輸 (088)699-4101

香 川

02 高松貨物ターミナル駅
高松市 20?31?海

日本通運 (087)832-9010
丸点通運 (087)881-1100
中讃通運 (0877)49-2511
水島臨海通運 (087)832-9266
NX徳通 (088)686-2162
全国通運 (087)881-9511
日本フレートライナー (087)882-2148
四国名鉄運輸 (087)851-5181

九 州



福 岡

01 北九州貨物ターミナル駅
北九州市門司区 20?31?海

日本通運 (093)382-6231
小倉運送 (093)371-3105
山九 (093)381-1312
九州紙運輸 (093)382-6301
三菱ケミカル物流 (093)643-2678
日鉄物流八幡 (093)751-2666
西九大運輸倉庫 (093)382-2070

愛 媛

03 新居浜駅
新居浜市 20?31?海

日本通運 (0897)46-2000
住化ロジスティクス (0897)41-3993
三豊運送 (0897)46-3143
全国通運 (087)881-9511

04 松山貨物駅
松山市 20???

日本通運 (089)994-8286
四国名鉄運輸 (089)984-6374
南豫通運 (0895)22-5444
全国通運 (087)881-9511
日本フレートライナー (089)995-8486

05 伊予三島駅
四国中央市 ????専

日本通運 (0896)23-5900

高 知

06 高知オフレールステーション
高知市 12???

日本通運 (088)865-8100
高知通運 (088)837-4800
四国名鉄運輸 (088)804-7280

博多運輸 (092)631-1600
博多港運 (092)641-3031
筑後運送 (092)651-7872
小倉運送 (092)651-1267
ウチダロジテム (092)622-2130
九州産交運輸 (092)651-7880
九州紙運輸 (092)643-0374
佐賀運輸 (0942)82-3282
全国通運 (092)641-3694
日本フレートライナー (092)651-8023

03 大牟田オフレールステーション
大牟田市 12???

大牟田運送 (0944)41-2761
筑後運送 (0944)56-9749

佐 賀

04 鍋島駅
佐賀市 12???

日本通運 (0952)24-4151
光物流 (0952)26-7717
西松浦通運 (0952)32-5111
肥前通運 (0952)25-2241
松浦通運 (0955)53-7070
北松通運 (0950)57-1313
佐賀運輸 (0952)23-8797
筑後運送 (0952)23-0168
日本フレートライナー (0942)88-6008

05 鳥栖貨物ターミナル駅
鳥栖市 20?31?海

日本通運 (0942)83-4215
光物流 (0942)87-7711
井手運送 (0942)82-4128
佐賀運輸 (0942)82-3282
筑後運送 (0942)85-2030
博多港運 (0942)85-0057
九州産交運輸 (0942)87-4500
西九大運輸倉庫 (0942)87-7473
肥前通運 (0952)25-2241
井樋運輸 (0942)83-4031
西松浦通運 (0952)32-5111
大牟田運送 (0944)41-2761
鳥栖倉庫 (0942)83-2416
全国通運 (092)411-0624
日本フレートライナー (0942)88-6008
九州センコーロジ (0942)92-0946

06 有田オフレールステーション
西松浦郡有田町 12???

日本通運 (0956)33-0202
西松浦通運 (0955)42-2851
肥前通運 (0952)25-2241
長崎運送 (0957)46-3262

長 崎

07 長崎オフレールステーション
長崎市 12???

日本通運 (095)865-6622
長崎運送 (0957)46-3262

大 分

08 西大分駅
大分市 20???

日本通運 (097)535-0447
豊後通運 (097)534-7386
高田通運 (097)532-0628
センコー (097)593-1050
山九 (097)592-1133
日本フレートライナー (097)506-0080

09 東中津コンテナ通運デポ
中津市 12??D

日本通運 (0979)32-2233

熊 本

10 熊本駅
熊本市 20?31?海

日本通運 (096)354-6266
九州産交運輸 (096)325-0861
三角海運 (096)359-1333
熊本通運 (096)323-7122
南九州センコー (0966)63-4165
西九大運輸倉庫 (096)312-3811
日本フレートライナー (099)216-8028

11 八代駅
八代市 12???

日本通運 (0965)35-4687
九州産交運輸 (0965)32-8143
九州紙運輸 (0965)33-0071
南九州センコー (0966)63-4165

宮 崎

12 佐土原オフレールステーション
宮崎市 12???

日本通運 (0985)73-0200
センコー (0985)23-5221
宮崎運輸 (0985)23-2321
日向運輸 (0983)22-1336

13 延岡駅
延岡市 12???

日本通運 (0982)32-3391
センコー (0982)34-2178
宮崎運輸 (0985)23-2321
日向運輸 (0982)52-2148

14 南延岡駅
延岡市 ????専

センコー (0982)34-2178

15 都城オフレールステーション
都城市 12???

日本通運 (0986)23-3965
鹿児島海陸運送 (0986)22-3970
鹿児島通運 (099)226-1930
宮崎運輸 (0986)52-7766

鹿児島

16 川内駅
薩摩川内市 12???

日本通運 (0996)21-1630
中越輸送 (0996)22-3156
中越物産 (0996)27-4401

17 鹿児島貨物ターミナル駅
鹿児島市 31???海

日本通運 (099)222-3181
鹿児島海陸運送 (099)222-7101
鹿児島通運 (099)226-1930
南九州センコー (099)261-8591
日本フレートライナー (099)216-8028

公益社団法人 全国通運連盟

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-21 淡路町MHビル5F

TEL.03-5296-1670 FAX.03-5296-1673 E-mail. renmei@t-renmei.or.jp



ホームページ

<https://www.t-renmei.or.jp/>

概要

名称 公益社団法人 全国通運連盟 (ALL JAPAN RAILWAY-FREIGHT FORWARDERS ASSOCIATION)

目的 鉄道に係る第二種貨物鉄道利用運送事業（通運事業）の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事業 (1) 通運事業に関する調査研究、統計の作成、資料の蒐集及びこれらの配布
(2) 通運事業に関する人材育成及び広報宣伝
(3) 通運事業に係る近代化・合理化、輸送の安全、モーダルシフト等の施策を推進するための事業
(4) 官公庁、国会その他に対する建議、陳情及び連絡
(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

沿革

1950（昭和25）年 2月 通運事業法施行
1952（昭和27）年 2月 全国通運業連盟が発足
1971（昭和46）年 5月 社団法人 全国通運連盟として発足
1990（平成2）年12月 貨物運送取扱事業法施行（通運事業法廃止）
2003（平成15）年 4月 貨物利用運送事業法施行（貨物運送取扱事業法から貨物利用運送事業法へ）
2006（平成18）年 3月 第1回鉄道利用運送推進全国大会を開催
2006（平成18）年12月 グリーン物流パートナーシップ会議でスーパーグリーン・シャトル列車が国土交通大臣表彰を受賞
2013（平成25）年 4月 公益社団法人へ移行
2018（平成30）年10月 第1回 通運事業フォーラムを開催

各地方通運業連盟

●北海道通運業連盟 TEL.011-758-6060 ●東京地方通運連盟 TEL.03-3253-8095 ●広島地方通運業連盟 TEL.082-263-8847
●仙台地方通運業連盟 TEL.022-262-5827 ●中部地方通運業連盟 TEL.052-756-2780 ●四国地方通運業連盟 TEL.087-802-4180
●新潟地方通運業連盟 TEL.025-228-0216 ●大阪地方通運業連盟 TEL.06-6451-2911 ●九州地方通運業連盟 TEL.092-281-2830

ぼくは、31フィート・ウィングコンテナとレールをモチーフに、鉄道コンテナの Mascot キャラクターとして2005年9月9日に生まれました。名前は、環境にやさしい“エコロジー”の「エコ」と“コンテナ”の「コン」を組み合わせ「エコくん」と名付けてもらいました。これからも地球の未来のためにがんばります！



エコくん®

お申込み、お問い合わせ先

